



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月13日
東

上場会社名 株式会社フィル・カンパニー

上場取引所

コード番号 3267

URL <http://philcompany.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 外山 晋吾

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理・経営企画管掌 (氏名) 豊田 憲一

(TEL) 03 (6264) 1100

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績(2025年12月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第3四半期	6,096	8.3	270	3.4	233	△8.9	227	46.9
2025年11月期第3四半期	5,628	45.6	261	69.8	256	82.3	154	78.1

(注) 包括利益 2026年11月期第3四半期 227百万円(46.9%) 2025年11月期第3四半期 154百万円(78.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	42.38	—
2025年11月期第3四半期	28.85	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第3四半期	8,757	3,565	40.1
2025年11月期	9,940	3,344	33.3

(参考) 自己資本 2026年11月期第3四半期 3,511百万円 2025年11月期 3,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年11月期	—	0.00	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年11月期期末配当金の内訳 普通配当金15円00銭 記念配当金5円00銭(創立20周年記念配当)

3. 2026年11月期の連結業績予想(2025年12月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	6.9	380	△35.5	355	△37.7	270	△32.2	50.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年11月期3Q	5,744,900株	2025年11月期	5,778,000株
② 期末自己株式数	2026年11月期3Q	372,724株	2025年11月期	408,223株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年11月期3Q	5,371,190株	2025年11月期3Q	5,369,779株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式(2026年11月期3Q 0株、2025年11月期35,500株)が含まれております。また、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数に含めております。(2026年11月期3Q 19,107株、2025年11月期3Q 35,500株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年12月1日から2026年8月31日まで)におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や企業収益、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。建設・不動産業界におきましては、首都圏を中心とした分譲マンション価格や地価は高値圏を推移し、オフィス・店舗・住宅等の賃料も堅調に推移しています。一方で、建築資材価格の高止まりや労務コストの上昇に伴う建築費の高騰、人材不足や建築確認申請の長期化による工期の長期化が継続しており、事業計画への影響が注視される状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「まちのスキマを、「創造」で満たす。」をパーパスに掲げ、土地オーナー・入居者・地域にとって三方良しとなる企画である空中店舗「フィル・パーク」、ガレージ付賃貸住宅「プレミアムガレージハウス」等の空間ソリューション事業を展開してまいりました。土地オーナーに対して土地活用商品の企画提案を行う「請負受注スキーム(既存土地オーナー向けサービス)」と、当社が土地を購入し企画開発から販売までを一貫して行う「開発販売スキーム(不動産投資家向けサービス)」の2つのスキームにより、ソリューションサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は6,096,451千円(前年同期比8.3%増)、売上総利益は1,565,403千円(前年同期比10.9%増)、売上総利益率は25.7%(前年同期は25.1%)となっております。

売上高及び売上総利益におきましては、当第3四半期連結累計期間において、請負受注は、売上高及び新規受注高は前年並みとなり、開発販売においては、大型案件を含めて計3件の販売引渡を完了したこと等により、前年同期比で増収増益となりました。売上総利益率におきましても、建築価格高騰の影響が継続するなか、開発販売における販売方法の高度化により、高水準の収益性を確保したことで、前年同期を上回りました。

一方、将来の成長に向けた人員体制の強化等に伴い販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は270,324千円(前年同期は営業利益261,394千円)、経常利益は233,653千円(前年同期は経常利益256,393千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は227,606千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益154,932千円)となりました。

売上高、売上内訳、売上原価、売上総利益及び売上総利益率は下表のとおりです。

(単位：千円)

2026年11月期					
		第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
売上高		2,043,037	1,209,707	2,843,706	6,096,451
売上内 訳	請負受注	1,309,400	1,048,352	1,161,324	3,519,077
	開発販売	584,096	—	1,517,029	2,101,125
	その他	149,541	161,354	165,352	476,248
売上原価		1,591,071	924,290	2,015,685	4,531,047
売上総利益		451,965	285,416	828,021	1,565,403
売上総利益率		22.1%	23.6%	29.1%	25.7%

2025年11月期					
		第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
売上高		1,772,464	2,171,802	1,684,552	5,628,819
売上内 訳	請負受注	1,252,625	1,364,626	1,080,573	3,697,825
	開発販売	381,412	655,445	457,089	1,493,947
	その他	138,426	151,730	146,889	437,047
売上原価		1,283,981	1,716,724	1,216,941	4,217,646
売上総利益		488,483	455,078	467,611	1,411,172
売上総利益率		27.6%	21.0%	27.8%	25.1%

<請負受注スキーム>

当第3四半期連結会計期間における受注件数は10件（前年同期は7件）、受注高は1,604,842千円（前年同期は800,342千円）となりました。内訳は空中店舗フィル・パークの受注件数が1件（前年同期は3件）、受注高が738,772千円（前年同期は430,540千円）、プレミアムガレージハウスの受注件数が9件（前年同期は4件）、受注高が866,070千円（前年同期は369,802千円）となっております。これにより、当第3四半期連結累計期間における受注件数は27件（前年同期は30件）、受注高は3,420,596千円（前年同期は3,515,308千円）となっております。

内訳は空中店舗フィル・パークの受注件数が5件（前年同期は13件）、受注高が1,429,112千円（前年同期は2,261,545千円）、プレミアムガレージハウスの受注件数が22件（前年同期は17件）、受注高が1,991,483千円（前年同期は1,253,762千円）となっております。将来の売上見込金額である受注残高は当第3四半期連結会計期間末時点で5,465,094千円（前年同期末時点は4,828,209千円）となっております。

<開発販売スキーム>

当第3四半期連結会計期間では新たに1件の用地取得契約を締結し、また2件の販売引渡を行っております。

これにより、当第3四半期連結会計期間末時点の開発プロジェクト残件数は14件、将来の売上原価見込金額となる開発プロジェクト残高は7,393,398千円（前年同期末時点は7,038,744千円）となっております。

当第3四半期連結会計期間における将来の売上ストック指標（請負受注残高＋開発プロジェクト残高）は、128.5億円となり、過去最高の水準を維持しております。

<事業の状況>

2026年11月期							
		単位	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
請負受注スキーム	受注高※1 (受注件数)	千円 (件)	296,187 (3)	1,519,566 (14)	1,604,842 (10)	—	3,420,596 (27)
	空中店舗フィル・パーク	千円 (件)	103,810 (1)	586,530 (3)	738,772 (1)	—	1,429,112 (5)
	プレミアムガレージハウス※2	千円 (件)	192,377 (2)	933,036 (11)	866,070 (9)	—	1,991,483 (22)
	受注残高※3 (進行プロジェクト件数) ※4	千円 (件)	4,655,591 (52)	5,059,744 (50)	5,465,094 (47)	—	—
開発販売スキーム	販売引渡件数	件	1	0	2	—	3
	開発用地取得契約件数※5	件	0	3	1	—	4
	開発プロジェクト残高※6 (開発プロジェクト残件数)	千円 (件)	6,091,793 (12)	7,790,112 (15)	7,393,398 (14)	—	—

2025年11月期							
		単位	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	合計
請負受注スキーム	受注高※1 (受注件数)	千円 (件)	1,854,555 (16)	860,410 (7)	800,342 (7)	2,298,163 (24)	5,813,472 (54)
	空中店舗フィル・パーク	千円 (件)	1,266,851 (6)	564,154 (4)	430,540 (3)	628,130 (3)	2,889,675 (16)
	プレミアムガレージハウス※2	千円 (件)	587,704 (10)	296,256 (3)	369,802 (4)	1,670,033 (21)	2,923,796 (38)
	受注残高※3 (進行プロジェクト件数) ※4	千円 (件)	5,611,935 (51)	5,255,503 (46)	4,828,209 (44)	5,636,476 (56)	—
開発販売スキーム	販売引渡件数	件	1	1	1	1	4
	開発用地取得契約件数※5	件	2	3	5	1	11
	開発プロジェクト残高※6 (開発プロジェクト残件数)	千円 (件)	2,632,012 (6)	3,067,958 (9)	7,038,744 (13)	6,496,811 (13)	—

※1 受注高とは、新規受注した案件及び追加工事の合計額となります。

※2 プレミアムガレージハウスの受注高については、協力会社による受注の数値を含めております。

※3 受注残高とは、期末時点において売上計上されていない受注高の残高合計（将来案件の進捗に応じて売上計上される金額）となります。

※4 進行プロジェクト件数とは、期末時点において進行中の請負受注スキームにおける案件数となります。

※5 開発用地取得契約件数については、当該土地の取得契約を締結した時点で1件とカウントしております。

※6 開発プロジェクト残高とは、期末時点における土地及び建物の完成に要する原価見込額の合計となります。
また、2025年11月期第2四半期において、当初固定資産として自社保有を予定していた案件1件を開発案件（棚卸資産）に変更しております。

従業員数					
	単位	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
2026年11月期	人	121	131	126	—
2025年11月期	人	90	118	120	126

※連結会計期間末時点での連結従業員数となります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,182,873千円減少し、8,757,260千円となりました。これは主として、販売用不動産が463,171千円増加し、現金及び預金が1,651,471千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1,403,745千円減少し、5,191,876千円となりました。これは主として、前受金が591,443千円、短期借入金が445,750千円、長期借入金が228,467千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて220,872千円増加し、3,565,384千円となりました。これは主として、配当金の支払いによる利益剰余金が108,105千円減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金が227,606千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月期の通期連結業績予想につきましては、2026年7月14日に公表した数値に変更はありません。請負受注スキームの受注状況及び既存案件の進捗状況、並びに開発販売スキームにおける仕入及び販売状況を引き続き慎重にモニタリングし、業績予想を修正する必要がある場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,044,657	3,393,185
売掛金	132,036	115,483
有価証券	399,276	500,008
販売用不動産	802,073	1,265,245
仕掛販売用不動産	2,105,748	2,311,064
未成業務支出金	80,306	37,423
未収還付法人税等	22,040	6,355
その他	142,004	169,365
流動資産合計	8,728,144	7,798,130
固定資産		
有形固定資産	477,785	581,622
無形固定資産		
のれん	56,716	37,083
その他	16,454	11,704
無形固定資産合計	73,170	48,788
投資その他の資産		
投資有価証券	311,674	51,665
繰延税金資産	89,275	70,731
その他	311,741	253,478
貸倒引当金	△51,656	△47,156
投資その他の資産合計	661,034	328,718
固定資産合計	1,211,990	959,130
資産合計	9,940,134	8,757,260
負債の部		
流動負債		
買掛金	733,454	526,376
短期借入金	920,000	474,250
1年内返済予定の長期借入金	696,081	1,055,063
未払法人税等	176,123	61,467
前受金	1,925,573	1,334,129
賞与引当金	72,215	21,336
役員賞与引当金	13,190	—
預り金	46,400	62,000
その他	210,962	175,770
流動負債合計	4,794,001	3,710,393
固定負債		
長期借入金	1,342,968	1,114,500
リース債務	98,195	2,797
資産除去債務	108,222	100,124
長期預り保証金	222,624	258,689
その他	29,609	5,371
固定負債合計	1,801,621	1,481,482
負債合計	6,595,622	5,191,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	789,647	789,647
資本剰余金	789,647	789,647
利益剰余金	2,427,011	2,546,513
自己株式	△700,980	△614,445
株主資本合計	3,305,325	3,511,361
新株予約権	39,186	54,022
純資産合計	3,344,511	3,565,384
負債純資産合計	9,940,134	8,757,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
売上高	5,628,819	6,096,451
売上原価	4,217,646	4,531,047
売上総利益	1,411,172	1,565,403
販売費及び一般管理費	1,149,778	1,295,078
営業利益	261,394	270,324
営業外収益		
受取利息	6,754	19,115
受取配当金	90	120
持分法による投資利益	—	2,471
助成金収入	10,296	—
貸倒引当金戻入益	—	4,500
その他	440	3,913
営業外収益合計	17,581	30,121
営業外費用		
支払利息	18,498	46,313
支払手数料	280	4,320
持分法による投資損失	3,802	—
投資有価証券評価損	—	7,716
その他	0	8,440
営業外費用合計	22,582	66,792
経常利益	256,393	233,653
特別利益		
固定資産売却益	—	84,260
受取補償金	—	150,000
その他	—	23,594
特別利益合計	—	257,854
特別損失		
株式給付信託終了損	—	97,248
特別損失合計	—	97,248
税金等調整前四半期純利益	256,393	394,259
法人税、住民税及び事業税	58,351	147,943
法人税等調整額	43,110	18,708
法人税等合計	101,461	166,652
四半期純利益	154,932	227,606
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,932	227,606

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益	154,932	227,606
四半期包括利益	154,932	227,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,932	227,606

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年1月10日 取締役会	普通株式	利益剰余金	54,052	10.00	2024年11月30日	2025年2月19日

(注) 2025年1月10日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金355千円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2026年1月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	108,105	20.00	2025年11月30日	2026年2月26日

(注) 2026年1月14日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金710千円が含まれております。

1株当たりの配当額には、創立20周年記念配当5円を含んでおります。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）及び執行役員（以下、取締役とあわせて「取締役等」という。）に対して業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入していましたが、2026年3月をもって終了し、特別損失として株式給付信託終了損を計上しております。また本制度の終了に伴い無償取得した自己株式について消却いたしました。

(従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社及び当社グループ会社の従業員（以下、あわせて「当社グループの従業員」という。）に対して従業員向け株式給付信託（以下、「本制度」という。）を導入していましたが、2026年3月をもって終了し、特別損失として株式給付信託終了損を計上しております。また本制度の終了に伴い無償取得した自己株式について消却いたしました。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	31,025千円	26,663千円
のれんの償却額	19,632千円	19,632千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「空中店舗フィル・パーク」等、空間ソリューション事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、「空中店舗フィル・パーク」等、空間ソリューション事業を提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年12月1日 至 2025年8月31日）

(単位：千円)

	請負受注	開発販売	その他	合計
企画・デザイン等	331,779	—	—	331,779
設計・監理	265,766	—	—	265,766
工事請負	3,100,279	—	—	3,100,279
開発販売	—	1,493,947	—	1,493,947
その他	—	—	87,116	87,116
顧客との契約から生じる収益	3,697,825	1,493,947	87,116	5,278,889
その他の収益	—	—	349,930	349,930
外部顧客への売上高	3,697,825	1,493,947	437,047	5,628,819

(注) その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年12月1日 至 2026年8月31日）

(単位：千円)

	請負受注	開発販売	その他	合計
企画・デザイン等	259,444	—	—	259,444
設計・監理	248,686	—	—	248,686
工事請負	2,982,203	—	—	2,982,203
開発販売	—	2,101,125	—	2,101,125
その他	28,742	—	95,049	123,791
顧客との契約から生じる収益	3,519,077	2,101,125	95,049	5,715,252
その他の収益	—	—	381,198	381,198
外部顧客への売上高	3,519,077	2,101,125	476,248	6,096,451

(注) その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり四半期純利益	28円85銭	42円38銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	154,932	227,606
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	154,932	227,606
普通株式の期中平均株式数(株)	5,369,779	5,371,190
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間35,500株、当第3四半期連結累計期間19,107株であります。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、ロビンスジャパン株式会社の株式取得について2026年9月4日開催の取締役会で決議し、2026年9月11日付で全株式を取得し、完全子会社化しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

① 被取得企業の名称

ロビンスジャパン株式会社

② 事業の内容

個人木造住宅の設計・施工。木造集合住宅の設計・施工。

(2) 企業結合を行った主な理由

ロビンスジャパン株式会社は、注文住宅及びリフォーム事業において豊富な施工実績を有するとともに、木造でのガレージハウスの施工実績があり、木造を活用した商品開発の強みを有しております。

本子会社化により、ロビンスジャパン社が培ってきた木造建築の施工ノウハウ及びネットワークを活用・融合させることで、主力商品である「プレミアムガレージハウス」の提供エリアの拡大、商品開発による事業の拡大を推進いたします。さらに、相互送客や新たな空間ソリューションの共有開発などのシナジーを創出し、当社グループ全体の持続的な成長と企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

(3) 企業結合日

2026年9月11日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得する株式譲渡契約を締結したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現金）	308,000千円
-----------	-----------

取得原価	308,000千円
------	-----------

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

外部アドバイザー報酬等 31,787千円

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。